

教科名

主題
イギリスがEUを離脱した事実から、EUにはメリットだけでなく、デメリットがあることに気づく。
EU統合がもたらす成果と課題などを多面的・多角的に考察し国家間の結びつきに関わる一般的課題とEUの地域特有の課題を捉える。

めあて
統合を進めてきたEUの抱える課題について班で考えよう。

まとめ
東西ヨーロッパの経済格差が生じており、その解消が課題となっている。

準備
教科書・授業プリント・タブレット端末

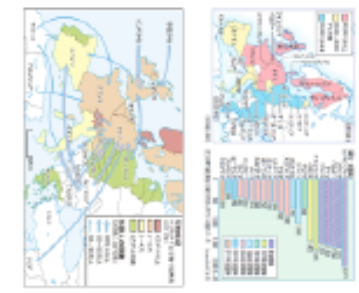
主体的・対話的で深い学びの工夫

- ① 図やグラフから読み取りを行い、自分の言葉で表現できるようにする。
- ② 日本がEUに加盟するかどうかをグループで話し合うことによって、社会的課題に対して主体的に考える力を育成する。

授業

めあて

統合を進めてきたEUの抱える課題について班で考えよう。



何が読み取れるだろうか？
 ・西側の方が国民所得が多い
 ・西側の国は賃金が高い
 ・西側の方が経済が発展している。

何が読み取れるだろうか？
 ・東側の国から、西側の国への人口移動が多い。
 ・西側に人が集まっている。

EU統合により人々の移動は自由になった。しかし、労働者はより賃金の高い西側の国へ移動する。

まとめ

東西ヨーロッパの経済格差が生じており、その解消が課題となっている。

本時の流れ

- ① EU加盟の基本概念をふり返る。その後、写真から、イギリスがEUを離脱していることに気づき、EUに課題があることに気づく。
- ② 図やグラフ(EU加盟国の一人当たりの国民所得の図や最低賃金のグラフ、外国人の移動に関する図)から、西よりも東の国の発展が遅れていることを読み取る。
【思】社会課題に対して当事者となって話し合い、班としての考えをつくる。
- ③ 班で、「もしヨーロッパにあるA国・B国だったらEUに参加したいと思うか」をもう一度考え、班としての意見をまとめて発表する。
【思】社会課題に対して当事者となって話し合い、班としての考えをつくる。
- ④ まとめ、ふり返りEUが課題を解決するために実施していることやEUを離脱したイギリスにおける社会問題を紹介する。

写真から何が読み取れるだろうか？

図やグラフから読み取れることは何だろうか？

もし自分がヨーロッパのA国・B国の国民だった場合EUに加盟したいか

EUの課題を考えよう。

北九州市立尾倉中学校 学校通信 第226号

校訓
自主創造 協力

おぐら 倉

令和4年9月16日(金)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>
豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>
① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
② 健康で明るく、思いやりのある生徒
③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

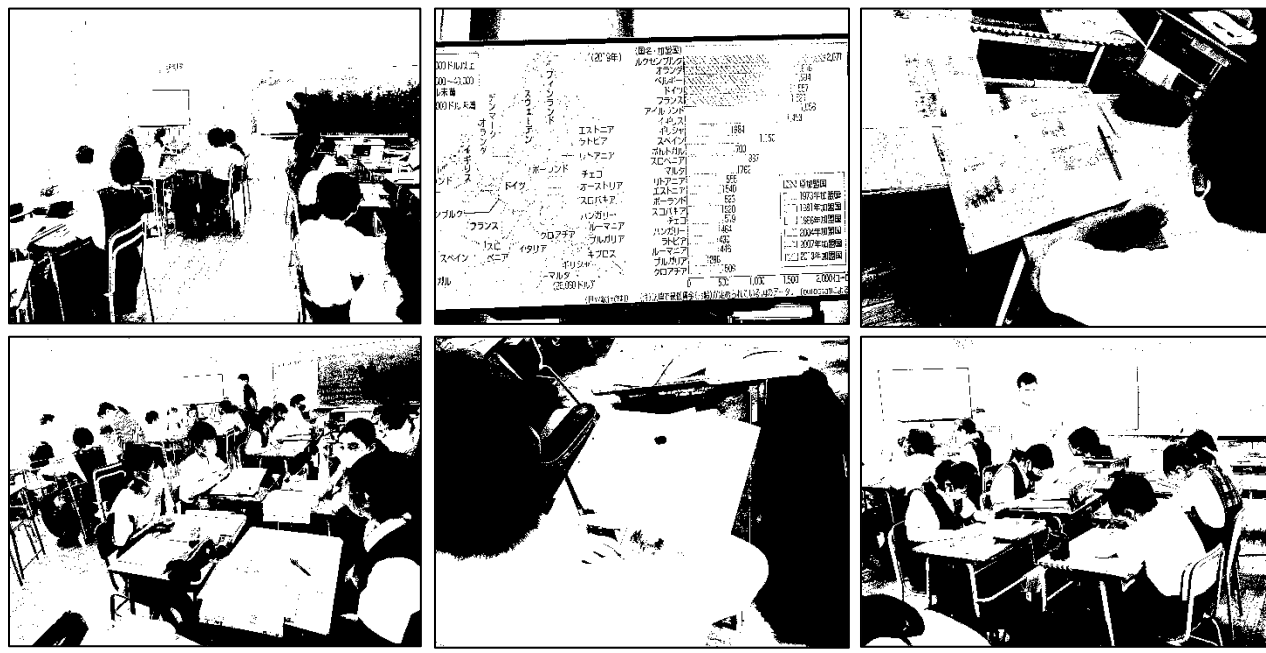
1年生社会科研究授業がありました！

9月15日(木)3校時に1年2組で社会科の研究授業が行われました。これは、本校が昨年度指定され、本年度も学校の取組として継続している「授業づくり共同研究」の一環としての授業です。

この「授業づくり研究」は、子どもたちにとって「わかる授業づくり」を目指し、その成果を尾倉中学校で共有するというものです。つまり、子どもたちが「分かった」「できた」と実感できる授業を目指していくものです。私たち教師が、自分の授業を振り返りながら、よりよい授業を目指し、子どもたちに還元していきたいと考えています。

本時の主眼は、①イギリスがEUを離脱した事実から、EUにはメリットだけではなく、デメリットがあることに気づく、②EU統合がもたらす成果と課題などを多面的・多角的に考察し国家間の結びつきに関わる一般的課題とEUの地域特有の課題を捉えることです。

主体的・対話的で深い学びの工夫として、①図やグラフから読み取りを行い、自分の言葉で表現できるようにする、②日本がEUに加盟するかどうかをグループで話し合うことによって、社会的課題に対して主体的に考える力を育成することを焦点化しました。



学校・家庭におけるスズメバチに関する対応について

北九州市教育委員会学校保健課より、「学校におけるスズメバチに関する対応について（注意喚起）」の通知がありましたのでお知らせします。

先日、市立中学校において、校外学習中に生徒及び引率教職員の複数名がハチに刺されるといふ事案が発生しました。また、今年はキイロスズメバチが例年の2倍以上発生しているという情報もあり、学校におけるハチの巣の駆除件数も昨年度を大幅に上回っています。

スズメバチは激しい攻撃性を持ち、活動が活発化する8月から10月にかけて、巣に近づくだけで人を攻撃することがあります。学校でも教室内にスズメバチが侵入することがあります。下記のとおり改めて注意を払って行動していきますので、ご家庭でも注意喚起をお願いいたします。

① スズメバチ及び巣に関する注意点

- (1) 黒い色や香水などの強い香りのものを攻撃する習性があるため、可能な範囲で避けるようにする。
- (2) スズメバチ及び巣を発見した場合は、刺激を与えないよう、近付いたり、大声を出したりしないようにする。
- (3) 学校や家屋の敷地内で巣を発見した場合は、業者による駆除を行うため、学校は学校保健課へ連絡します。家庭で発見した場合は、「衛生害虫相談センター(093-522-5321)」で受け付けています。

② スズメバチに刺された時の対応

- (1) 刺された箇所を氷水等で冷やし、できるだけ早く病院を受診する。
- (2) 応急処置として抗ヒスタミン軟膏が有効であるため、学校や家庭で常備しておくとともに、校外学習時や外出時(キャンプ、釣り等)に携帯する。
- (3) 刺された直後に呼吸困難、顔面蒼白、全身のじんましん、吐き気、激しい悪寒などのショック症状が現れた場合は、ただちに救急搬送する。

キイロスズメバチの巣は、キイロスズメバチの活動時期以外の時期や、活動時期でもまだ巣の大きさが小さいうちは自力での駆除も可能ですが、巣がすでにある程度の大きさになってしまっている場合は、巣はまだ小さいがキイロスズメバチが周りを飛んでいるのを見ると怖い、など感じる場合は無理せずハチの巣駆除の専門業者に駆除を依頼しましょう。

専門業者であれば駆除のための用具もノウハウも揃っていますので、素人がやるよりもずっと安全確実に駆除をすることが可能となります。

熱中症予防対策に関する動画配信について（お知らせ）

気温・湿度の高い状況が続き、新型コロナウイルス感染防止対策とともに熱中症対策の強化が必要となる時期が続いています。

北九州市教育委員会では、平成26年度から北九州市立八幡病院と消防局の協力により、希望校に対して講師（医師・消防士）を派遣し、熱中症に係る校内研修を行ってきました。（令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症感染予防のため中止）

熱中症が児童生徒の健康管理における重要な課題であることや学校管理下における熱中症患者の発生状況を踏まえ、今年度は、市立八幡病院参与・名誉院長 伊藤重彦氏監修により熱中症の予防対策に関する動画が作成されました。

本動画については、教職員研修でも活用しますが、下記の「ネットTV」においても配信中であり、家庭でも視聴可能となっていますのでお知らせします。

○ 研修・指導用動画 ※YouTube 限定公開（令和5年3月31日まで）

コンテンツ
(1) 熱中症対策講義【前編】 [8分43秒] 新規作成 熱中症の原因・熱中症になりやすい環境・熱中症指数 https://youtu.be/QgeaDOee80M
(2) 熱中症対策講義【後編】 [11分52秒] 新規作成 水分補給と経口補水液・熱中症の症状と応急手当・救急車を呼ぶタイミング https://youtu.be/4m8mo0uV3xQ
(3) 熱中症対策【学校向け】 [4分43秒] 平成28年度作成 https://youtu.be/eoBdjWWb8jQ
(4) 熱中症対策【一般向け】 [9分54秒] 平成26年度作成 https://youtu.be/qlHXOn04Z4c

※(1)・(2)の後、(3)又は(4)の構成で視聴することをお勧めします。

○ その他 ネットTV:「ストップコロナプロジェクト 2021 FUKUOKA」配信中

https://yahata-hospital.com/stv/player/pc/index_mix.php

▶ 急病・熱中症対策 のカテゴリーに上記と同じ動画がアップされています。